

# 日本政治学会 会報

The JPSA News

No.47

MAY.2004

## 2004年度研究会企画について

企画委員長 新藤 宗幸

2004年度の政治学会は、10月2、3日に札幌市の札幌大学にて開催されます。企画委員会は今年度の研究会について、従来とは若干異なる運営を試みました。第1に、従来の分科会はどちらかという政治学の専門分化に対応してつくられている各学会を単位として構成されていましたが、今年度はできるかぎり、その枠にとらわれずに構成することにしました。第2に、分科会の企画を公募し、研究会企画への会員の参加をはかることにしました。第3に、分科会とは別にラウンドテーブルを設け、政治学が当面している諸問題を自由闊達に議論することにしました。

第1日目の共通論題は、「日本の左翼—過去・現在・未来」がテーマです。「左翼」なる言葉と運動が日本政治から衰退しているようにみえますが、「左翼」とはいかなる意義と意味を日本政治にもったのか、また将来的可能性はどうかを検討するものです。

第2日目の共通論題は、「グローバルパワーとしてのアメリカ内政構造」です。アメリカはとりわけ軍事面においてグローバルパワーとして成長し、その行動の是非を問う声は日増しに高まっていますが、それはいかなる内政構造の所産であるのか、11月に迫った大統領選挙のゆくえを視野に入れつつ考察してみようとするものです。

両日にわたって午後10のセッションと2つのラウンドテーブルを設けます。このなかには、アメリカ政治学会、韓国政治学会との交流セッションがふくまれます。

第1日目。分科会Aは「平和の構築・暴力の脱構築」であり、平和構築の政治理論を具体的事例にそくしつつ考察するものです。分科会B「アメリカ政治の新潮流：ジェンダーの視点から」は、公募企画から採択したものです。「知のパラダイ

ム」を問い直す一環として、アメリカ政治の深層の変化をジェンダーの視点から考察するものです。分科会C「市民政治を可能にするもの：その政治理論的応答」も公募企画からです。市民社会概念に込められている意味は多義的であり、市民社会論の限界を指摘し、より広義の「市民政治」のもとで再構成することが目的とされています。分科会D「宗教と政治」は激動する世界政治のもとで政治と宗教との相互関係を考えるものです。ラウンドテーブル1「政治学をどう教授するか」は、会員の苦悩するところを率直に話し合ってみようとするものです。

第2日目。分科会E「ヨーロッパ化とマルチレベル・ガバナンスの変容—中央・地方関係の比較分析—」は公募企画からです。EUの拡大、欧州憲法の制定が進んでいますが、マルチ・ガバナンス論の限界を克服しヨーロッパ化と中央・地方関係の適切な理解を図ろうとするものです。分科会F「憲法政治」は日本国憲法をめぐる政治動態を徹底的に分析してみようとするものです。分科会G「市場と政治」は市場経済のグローバル化が引き起こしている問題状況を分析するものです。分科会Hは自由論題です。ラウンドテーブル2「日本政治学の最前線」は、政治学研究の新たな課題となっている、あるいはなりうると思えるイシューについて縦横に論じてみようとするものです。

アメリカ、韓国政治学会との交流セッションは、日を違えたいと思っていますが、先方のスケジュールによっては同一日になる可能性もあります。そのばあいには、分科会の設定日が変わることもありえます。確定版はプログラムとしてご送付いたします。

会員の皆さまには、秋の研究会に奮ってご参加いただくようお願い申し上げます。

## 2004年度日本政治学会研究会プログラム

2004. 5. 6現在

於・札幌大学

2004年10月2日(土)

### 共通論題Ⅰ「日本の左翼—過去・現在・未来」

報告者 渡辺 治 (一橋大学)  
山口二郎 (北海道大学) 「戦後政治における左翼の役割と限界」  
進藤 兵 (名古屋大学)  
討論者 田口富久治 (名古屋大学)  
小川有美 (立教大学)  
司 会 新藤宗幸 (千葉大学)

### 分科会A「平和の構築、暴力の脱構築」

報告者 篠田英朗 (広島大学) 「平和構築の政治理論：実践的課題と日本外交への提言」  
餐場和彦 (徳島大学) 「平和構築と自衛隊—カンボジア・ルワンダ・東ティモール・イラク」  
遠藤 貢 (東京大学) 「新生南アフリカ：『暴力の文化』と和解の実践」  
討論者 月村太郎 (神戸大学)  
司 会 竹中千春 (明治学院大学)

### 分科会B「アメリカ政治の新潮流：ジェンダーの視点から」(公募企画)

報告者 大津留 (北川) 智恵子 (関西大学) 「再ジェンダー化される市民像」  
岡野八代 (立命館大学) 「新たなフェミニズム政治理論の波—他者の視点/他者からの視点」  
討論者 武田興欣 (青山学院大学)  
相内真子 (北海道浅野学園大学)  
司 会 阿部 斉 (放送大学)

### 分科会C「市民政治を可能にするもの：その政治理論的応答」(公募企画)

報告者 辻 康夫 (北海道大学) 「市民社会と『ソーシャル・キャピタル』：近年のアソシエーション論の意義と射程」

田村哲樹 (名古屋大学) 「フェミニズムは公/私区分を必要とするのか？」

越智敏夫 (新潟国際情報大学) 「市民文化論の統合的機能：アメリカ的政治理論の自己正当化について」

討論者 栗原 彬 (明治大学)  
司 会 千葉 真 (国際基督教大学)

### 分科会D「宗教と政治—キリスト教の場合」

報告者 堀江洋文 (専修大学)  
野田昌吾 (大阪市立大学)  
討論者 土倉莞爾 (関西大学)  
司 会 田口 晃 (北海道大学)

### ラウンドテーブル1「政治学とは何か、政治学をどう教授するのか」

討論者 真淵勝 (京都大学、行政学)  
御巫由美子 (国際基督教大学、政策分析、ジェンダー論)  
白鳥浩 (法政大学、現代政治論)  
河田潤一 (大阪大学、政治過程論)  
永山博之 (広島大学、比較政治学)  
司 会 山本 啓 (東北大学)

2004年10月3日(日)

### 共通論題Ⅱ「グローバルパワーとしてのアメリカ内政構造」

報告者 古矢 旬 (北海道大学)  
李 鐘元 (立教大学)  
豊永郁子 (早稲田大学)  
討論者 我部政明 (琉球大学)  
司 会 久保文明 (東京大学)

## 分科会 E 「ヨーロッパ化 (Europeanization) と マルチレベル・ガバナンスの変容

—中央・地方関係の比較分析— (公募企画)

報告者 伊藤 武 (東京大学) 「EU統合と『地  
域(region)~イタリア・スペインの州制度改革と  
国家構造の変容」

小館尚文 (東京大学) 「『ヨーロッパ化』  
と統治構造の変容~北方『周辺』加盟国 (イギ  
リス・北欧) を事例に~」

討論者 若松邦弘 (東京外国語大学)  
網谷龍介 (神戸大学)

司 会 平島健司 (東京大学)

## 分科会 F 「憲法政治」

報告者 愛敬浩二 (名古屋大学)

小林正弥 (千葉大学)

谷澤正嗣 (早稲田大学)

討論者 石田 憲 (千葉大学)

司 会 木村正俊 (法政大学)

## 分科会 G 「市場と政治」

報告者 内山 融 (東京大学)

鈴木一人 (筑波大学)

討論者 遠藤 乾 (北海道大学)

司 会 城山英明 (東京大学)

## ラウンドテーブル 2 「日本政治学の最前線」

報告者 相内俊一 (小樽商科大学)

曾根泰教 (慶応義塾大学)

岩崎正洋 (杏林大学)

村山皓 (立命館大学)

司 会 荒木義修 (武蔵野大学)

## 分科会 H 「自由論題」

報告者 山田敬信 (名古屋外国語大学) 「ジョン  
ソン大統領と『貧困との戦争』」

木塚正也 (中部学院大学短期大学) 「立  
憲主義の射程」

南雲和夫 (法政大学) 「『ならず者国家論』  
の再検討—Michael T. Klare, “Rogue States and  
Nuclear Outlaw”を手がかりに」

討論者 新藤宗幸 (千葉大学)

司 会 高原明生 (立教大学)

ほかに「アメリカ政治学会」「韓国政治学会」の  
分科会

## 2003年度 第4回理事会記録

日時：2003年12月6日（土）14時～15時20分

場所：日本大学 本館第1会議室

第4回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 企画委員会

中邨2003年度委員長より、10月4、5日に尚美学園大学において行なわれた本年度研究会の出席者数についての報告（初日339名、2日目245名）が行なわれ、あわせて開催校・尚美学園大学への謝辞が述べられた。

2004年度委員会の活動状況については、欠席の新藤委員長に代わり、荒木委員より、来年度研究会について、例年通り2つの共通論題および外国政治学会との交流セッションに加え、従来型の分科会を4つ、公募企画による分科会を2～3、またラウンドテーブル的セッションを2つ程度行なう方向で目下検討しており、詳細は1月の委員会で決定し、次回理事会で報告する旨の報告が行なわれた。

#### (2) 年報委員会

渡辺2003年度委員長より、本年度年報の予定通りの年内刊行の目途が立ったことが報告された。

#### (3) 国際交流委員会

久米委員長より、(1) APSAとの交流について、APSA小委員会が応募会員の申請書を複数の外部レフェリーに審査依頼をし、その結果をふまえて国際交流委員会において網谷龍介（神戸大学）、高安健将の両会員をAPSAへの派遣報告者として決定したこと、アメリカ側からの派遣者については現在交渉中であること、(2) イギリス政治学会PSAとの交流について、日欧交流小委員会が応募会員の申請書を複数の外部レフェリーに審査依頼をし、その結果をふまえて国際交流委員会において網谷龍介（神戸大学）会員の派遣を決定したこと、(3) 日韓交流について、公募の結果、白鳥浩（法政大学）会員以外に応募者がいなかったため、日韓交流小委員会は同会員に加え若畑省二（信州大学）会員を韓国政治学会へ

派遣することを決定し、両会員の派遣を行なったこと、が報告された。報告に引き続き、意見交換が行われ、派遣者決定のルール整備および国際交流全体のあり方につき国際交流委員会で今後検討することとなった。

### 2. IPSA世界大会の件

IPSA組織委員会事務総長の蒲島理事より、2006年IPSA福岡大会の準備状況に関して、国際観光振興会を資金受入れ団体とする寄付金の損金扱いが12月1日より可能となったこと、助成金獲得のために必要となる日本学術会議への共催申請を行なったことなどに加え、来年4月に福岡で行われるIPSAラウンドテーブルの準備状況について報告が行なわれた。次いでIPSA大会プログラムについて小林プログラム小委員長（IPSAプログラム委員）、福岡ラウンドテーブルについて大嶽IPSA執行委員、財務に関して北岡財務委員長から、それぞれ補足報告が行なわれた。また北岡財務委員長からの提案にもとづき、会員から一口、一万円程度の寄付金を募ることが了承され、詳細は次回理事会であらためて決定することとされた。

また、福岡ラウンドテーブルとの関連も考慮して、次回理事会は4月3日に福岡で行うこととされた。なお、次期理事会もあわせて行なわれることとなった。

### 3. 新入会員承認の件

以下14名の新入会、2名の再入会が承認された。天野慎也、石橋章市朗、大塚昌克、鹿毛利枝子、北村浩、木村高宏、栗本裕見、嶋田暁文（再入会）、新谷浩史、高橋正樹、徳久恭子、土橋貴（再入会）、中島智朗、西村弥、平野聡、廣瀬美佳（五十音順・敬称略）

### 4. その他

事務局より、第2回および第3回理事会記録を原案通り確定させることが提案され、承認された。

## 2003年度 第5回理事会記録

日時：2004年4月3日（土）14時～14時45分

場所：福岡国際会議場 503号室

第5回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 企画委員会

2004年度新藤委員長から別紙プログラム案にもとづき今年度研究会の企画案について説明が行なわれた。一部未定であるが、共通論題2つに加え、分科会10（公募企画による3つを含む）および新たな試みであるラウンドテーブル的セッションを2つ行なう大枠が承認され、最終的には次回6月理事会で確定することとされた。

#### (2) 年報委員会

渡辺2003年度委員長より、03年度年報が無事予定通り刊行された旨報告がなされた。2004年度御厨委員長（常務理事代読）からは、夏休み中の脱稿予定で執筆段階に現在入っていること、論文公募については、審査の結果、2件の採択と1件の修正要求付きでの採択が決まったことが報告された。

#### (3) 文献委員会

2003年度梅川委員長から、02年度の「学会展望」が無事に完成・掲載された旨の報告が行なわれた。

#### (4) 国際交流委員会

久米委員長より、(1) A P S A との交流について、今年度研究会へのアメリカ側からの派遣メンバーが Ian Shapiro (イェール大学)、Margaret Levi (ワシントン大学) の両氏にはほぼ固まったこと、

(2) 今年度研究会での日韓交流セッションについては、韓国側からの派遣報告者はまだ決まっていないものの、テーマは「ポピュリズム」を軸に企画中であることが報告された。なお、上記二つの国際交流事業については、民間資金援助の申請

を行なっていることも合わせて報告された。

### 2. 2003年度決算について

大西幹事より2003年度決算報告（別添）、品田監事より監査報告がなされ承認された。なお、会費収入が昨年より31万円ほど減少し、また次年度繰越金も毎年60～80万円ずつ減少しているとの大西幹事の報告を受け、財政状況の悪化に関して若干の意見交換が行なわれた。

### 3. 2004年度予算について

大西幹事より2004年度予算案（別添）の提案があり、原案通りに承認された。

### 4. I P S A 世界大会の件

I P S A 組織委員会財務委員長の北岡理事から、I P S A 福岡大会開催のための会員からの寄付金の募集について、寄付金は一口一万円とし、ニューズレター・総会などで呼びかけるなどの提案が行なわれ、承認された。

### 5. 新入会員承認の件

以下11名の新入会、2名の再入会が承認された。阿波根剛史、李昇柱、梅森直之（再入会）、唐渡晃弘、近藤誠一、川原彰（再入会）、菊池端夫、高松淳也、前田幸男、松尾哲也、三須拓也、森川輝一、柳相栄（五十音順・敬称略）

### 6. その他

(1) 事務局より、第4回理事会記録を一部修正のうえ確定させることが提案され承認された。

(2) 次回理事会は、2004年6月5日（土）午後1時半から東京大学法学部において開催する旨提案があり、了承された。

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 2003年度決算（案）

### 一般会計

[収入]	予算額	通年執行額	差引
1 前年度繰越金	5,517,841	5,517,841	0
2 会費収入	11,000,000	11,028,625	28,625
3 雑収入	3,000	111,142	108,142
収入合計	16,520,841	16,657,608	136,767

### [支出]

	予算額	通年執行額	差引
1 研究会開催費	1,350,000	1,350,000	0
A 研究会準備金	1,300,000	1,300,000	0
B 報告者礼金	50,000	50,000	0
2 委員会経費	715,000	715,000	0
A 年報委員会	210,000	210,000	0
B 企画委員会	210,000	210,000	0
C 文献委員会	190,000	190,000	0
D 国際交流委員会	70,000	70,000	0
E 選挙管理委員会	35,000	35,000	0
3 理事会経費	20,000	9,263	10,737
4 IPSA学会分担金	400,000	328,450	71,550
5 事務局経費	510,000	507,064	2,936
A 理事長通信費	100,000	100,000	0
B 運営費	60,000	60,000	0
C 人件費	200,000	200,000	0
D 経常費	150,000	147,064	2,936
6 学会事務センター委託経費	1,400,000	1,400,275	-275
A 業務委託費	1,210,000	1,134,903	75,097
B 事務通信費	190,000	265,372	-75,372
7 名簿作成積立金	800,000	800,000	0
8 国際交流基金への積立金	500,000	500,000	0
9 国際交流プログラム助成費	300,000	0	300,000
10 選挙管理費	400,000	328,560	71,440
11 会報発行費	700,000	681,960	18,040
12 年報費	5,500,000	5,247,134	252,866
13 予備費	1,000,000	153,500	846,500
支出小計	13,595,000	12,021,206	1,573,794
14 次年度繰越金	2,925,841	4,636,402	-1,710,561
支出合計	16,520,841	16,657,608	-136,767

### 一般会計資産

りそな銀行普通口座	1,479,804
郵便貯金総合口座	11,313
学会事務センター預け金	3,145,285
合計	4,636,402

### 別会計

	費目	予算額	通年執行額	差引
1 名簿作成積立金				
収入	1 前年度繰越金	1,062	1,062	0
	2 本年度積立金	800,000	800,000	0
	3 利息	8	6	-2
	収入合計	801,070	801,068	-2
(A)				
支出	1 名簿作成費用	0	0	0
	2 予備費	801,070	0	801,070
	支出合計	801,070	0	801,070
(B)				

収支残高 801,068 (A) + (B)

### 2 国際交流基金

収入	1 前年度繰越金	22,911,638	22,911,638	0
	2 本年度積立金	500,000	500,000	0
	3 利息	234	248	14
	収入合計	23,411,872	23,411,886	14
(A)				
支出	1 執行計画	10,000,000	3,158,575	6,841,425
	2 予備費	13,411,872	0	13,411,872
	支出合計	23,411,872	3,158,575	20,253,297
(B)				

収支残高 20,253,311 (A) + (B)

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 2004年度予算 (案)

### 一般会計

[収入]	費目	予算額
1	前年度繰越金	4,636,402
2	会費収入	11,000,000
3	雑収入	3,000
	収入合計	15,639,402

### [支出]

1	研究会開催費	1,350,000
	A 研究会準備金	1,300,000
	B 報告者礼金	50,000
2	委員会経費	780,000
	A 年報委員会	210,000
	B 企画委員会	210,000
	C 文献委員会	190,000
	D 国際交流委員会	70,000
	E 学会機関誌改革検討委員会	100,000
3	理事会経費	20,000
4	IPSA学会分担金	400,000
5	事務局経費	660,000
	A 理事長通信費	100,000
	B 運 営 費	60,000
	C 人 件 費	200,000
	D 経 常 費	150,000
	E 事務局移転費	150,000
6	学会事務センター委託経費	1,400,000
	A 業務委託費	1,210,000
	B 事務通信費	190,000
7	名簿作成積立金	800,000
8	国際交流基金への積立金	500,000
9	国際交流プログラム助成費	300,000
10	会報発行費	700,000
11	年 報 費	5,500,000
12	ホームページ管理費	30,000
13	予 備 費	1,000,000
14	次年度繰越金	2,199,402
	支出合計	15,639,402

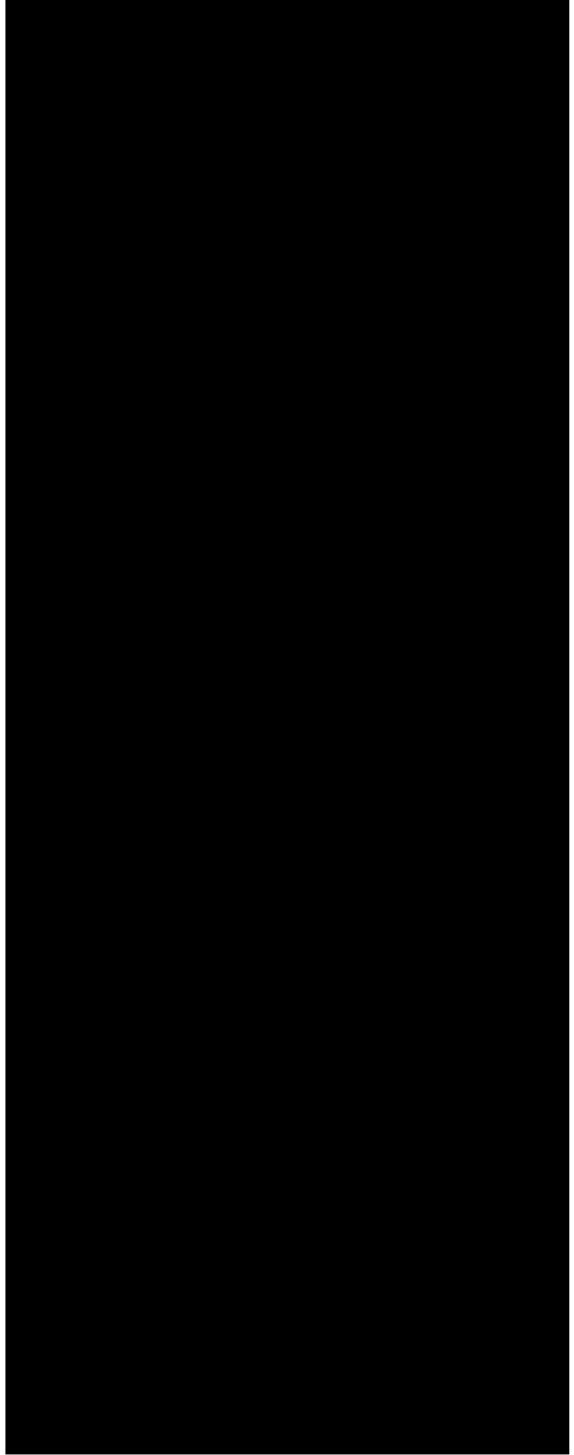
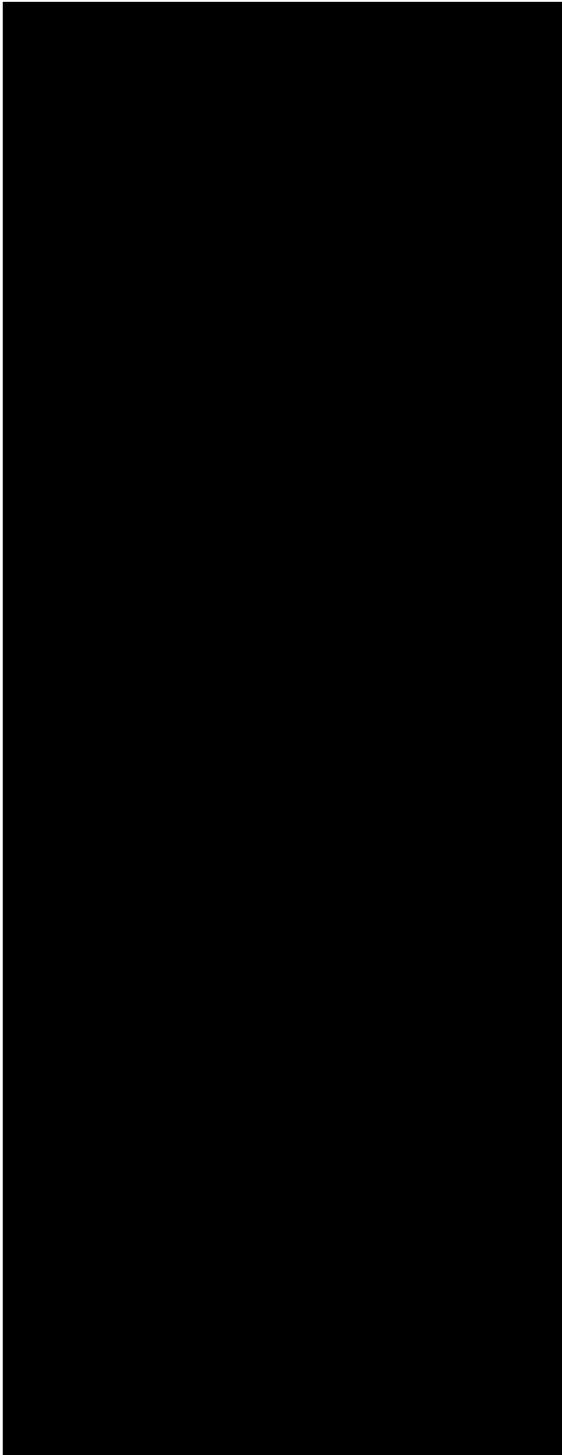
### 別会計

	費目	予算額
1	名簿作成積立金	
収入	1 前年度繰越金	801,068
	2 本年度積立金	800,000
	3 利息	16
	収入合計	1,601,084
支出	1 名簿作成費用	0
	2 次年度繰越金	1,601,084
	支出合計	1,601,084

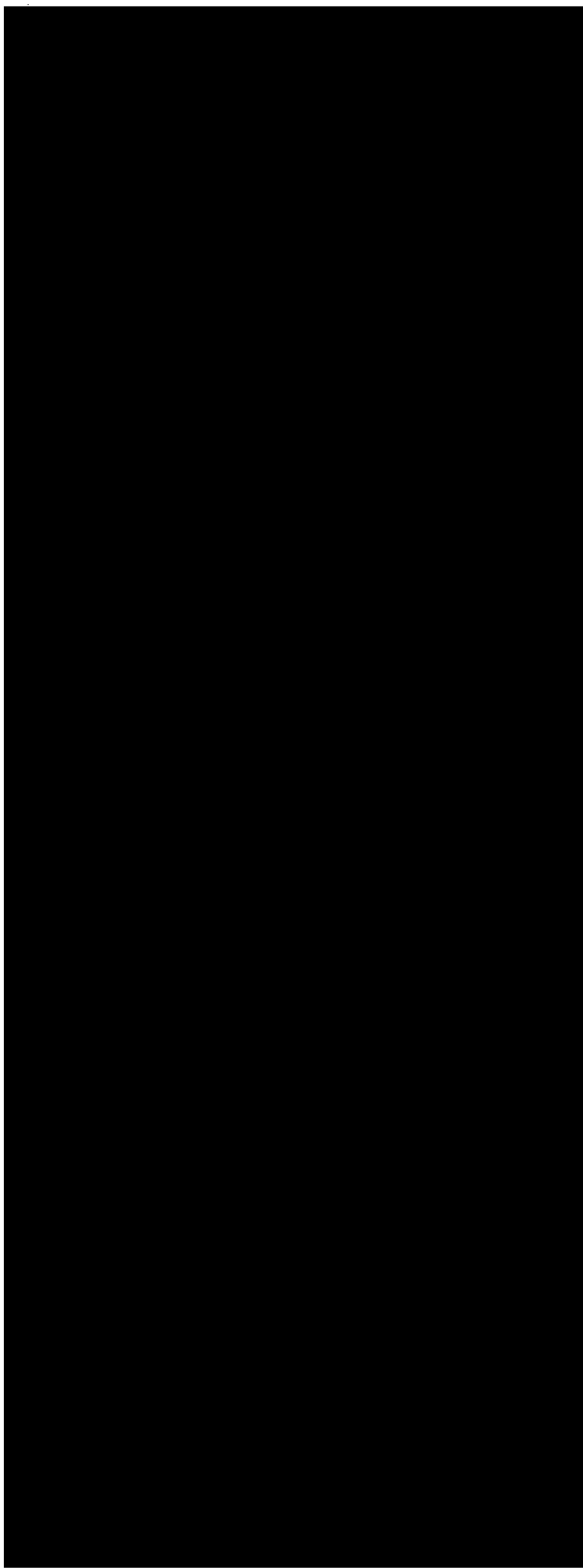
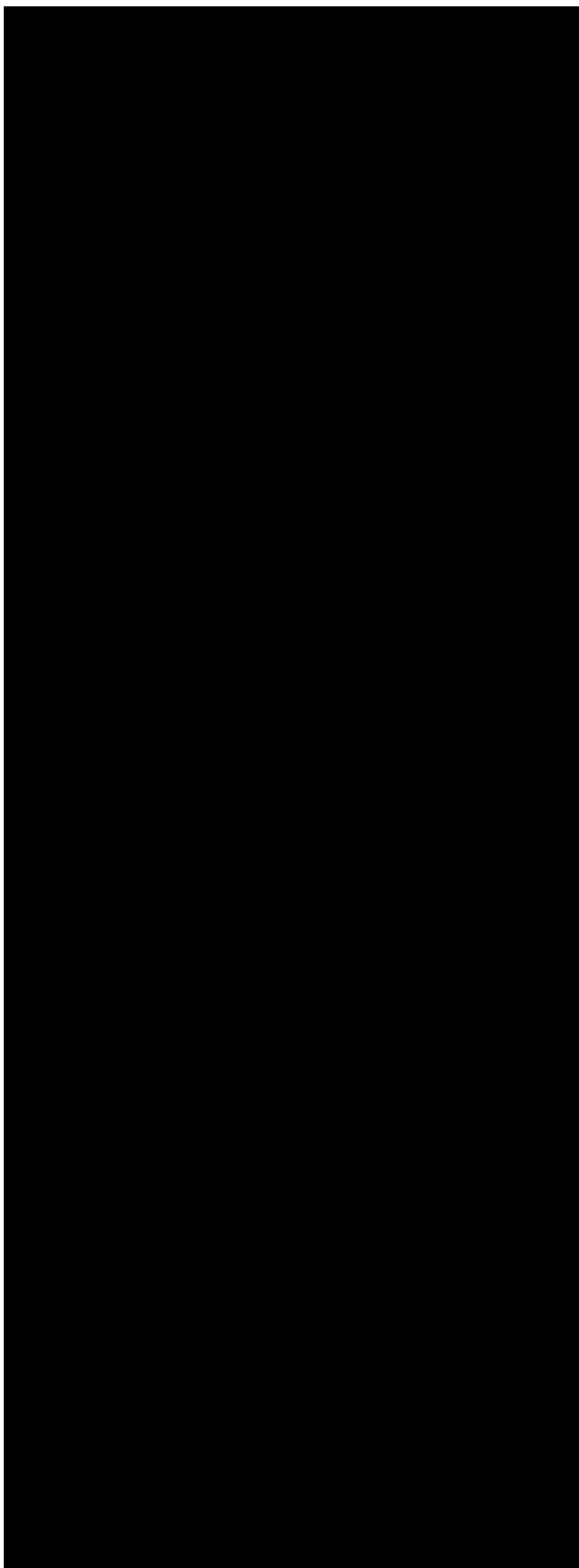
### 2 国際交流基金

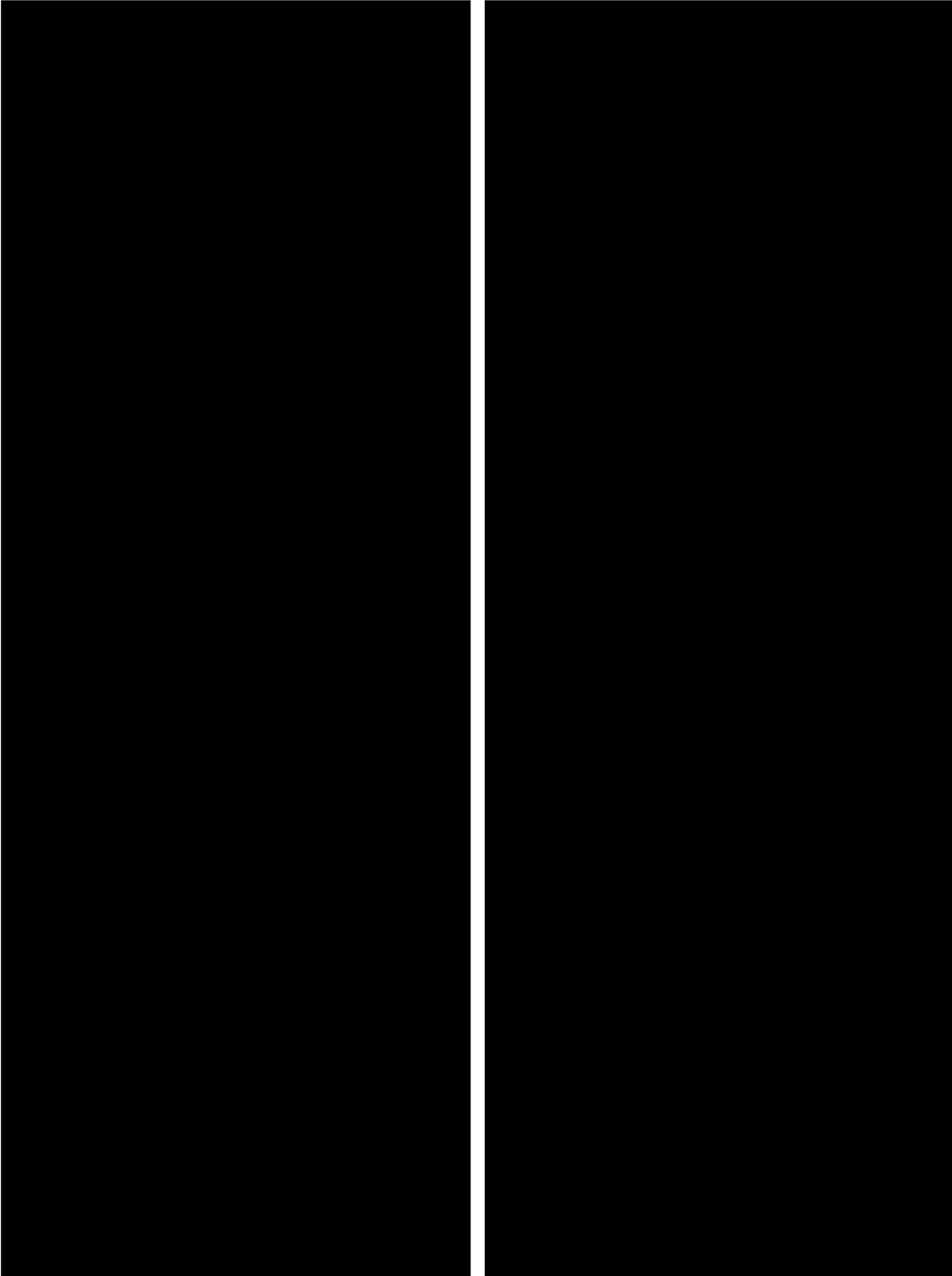
収入	1 前年度繰越金	20,253,311
	2 本年度積立金	500,000
	3 利息	207
	収入合計	20,753,518
支出	1 執行計画	3,000,000
	2 予備費	1,000,000
	3 次年度繰越金	16,753,518
	支出合計	20,753,518

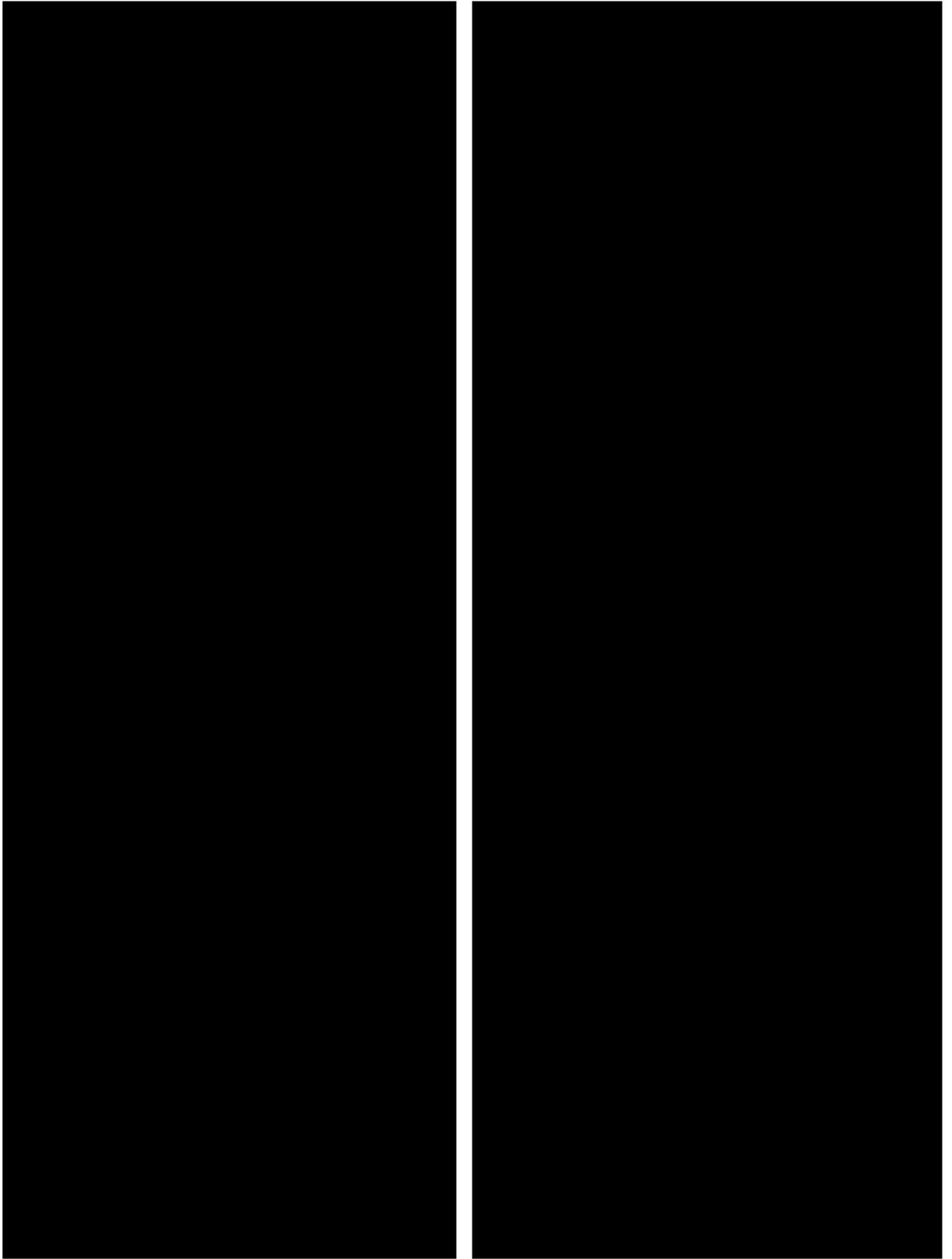
会員の異動











## 事 務 局 よ り

### 会費納入についてのお願い

年会費をまだ納めていただいていない会員の方が若干おいでになります。学会事務センターからのご案内させていただいておりますが、何卒速やかにご協力の程お願い致します。一般会員は7,500円、院生会員は5,000円です。

ご不明な点は学会事務センターまでお問い合わせください。

### 訂 正

年報政治学2003『「性」と政治』の学会記事に誤りがありました。謹んで訂正させていただきます。正誤は以下の通りです。

289ページ 2002年度日本政治学会総会・研究会日程  
分科会C 報告 (誤) 安武真隆(関西学院大学)  
(正) 安武真隆(関西大学)

分科会 I 報告

(誤) B. Crawford (University of California, Berkeley)

(正) 竹中治堅(政策研究大学院大学)

ご迷惑をおかけしました関係各位に、心よりお詫び申し上げます。

### 訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

田中誠一氏 大阪経済法科大学教授 行政理論、アジア地域研究 1934年生

尾藤孝一氏 稚内北星学園大学情報メディア学部教授 政治理論 1954年生

高橋祥起氏 徳島文理大学文学部・総合政策学部教授 政治学・政治理論、政治文化論 1931年生

山内正樹氏 デカプリスト運動 1907年生

### 本号の目次

1. 2004年度研究会企画について ..... 1
2. 2004年度日本政治学会研究会プログラム ..... 2
3. 理事会記録 ..... 4
4. 2003年度決算 ..... 6
5. 2004年度予算 ..... 7
6. 会員の異動 ..... 8
7. 事務局より(会費納入についてのお願い、訃報、訂正) ..... 12

2004年5月30日発行

発行 日本政治学会事務局

稲 継 裕 昭

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部内

TEL&FAX 06-6693-5031

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jpsa2/>

(財) 日本学会事務センター

〒113-8531 東京都文京区本郷3-22-5

住友不動産本郷ビル7階

研究者情報管理(退会、住所変更、会費)

TEL 03-5814-5810

FAX 03-5814-5825

印 刷 (株) ひまわりぷりんと